

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
地域経済学(53期～)	南 慎二郎	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	我々の日常生活において最も密接に関わるものとして地域経済社会がある。地域といった場合、一定の狭い空間範囲で区切られたローカルの存在であるが、一方で、現代におけるグローバル化・分権化・人口減少の潮流の中で地域は直接的に影響を受けることとなる。そのような地域における経済社会をどのように維持・発展させるかは、誰にとっても直面し、取り組まねばならない課題である。本講義では地域経済の理論やこれまでの学説、現実の地域経済の課題や政策を検討する。						
到達目標	①地域経済に関する基本的な概念や問題を幅広く理解し、説明することができる。 ②具体的な地域経済に関する問題を把握し、論じることができる。						
回	学習内容						
1	地域経済学とはなにか：地域の概念、地域経済学の構成						
2	地域の経済理論：チューネン等の立地論の系譜とその理論						
3	地域経済の分析法、産業連関、費用便益、地域の政治経済学						
4	地域経済と地域システム：立地論からシステム論へ、地域システムと企業システム						
5	地域経済と都市論：都市の経済学的定義、田園都市論						
6	地域経済の都市化：集積利益、社会的分業の進行						
7	資本主義と地域経済：都市化の進行、グローバリゼーション						
8	地域経済と都市問題の深刻化：集積不利益、公共政策の拡大、現代的貧困						
9	地域問題と地域政策：地域政策効果の考察、政府の失敗、TVA(テネシー川流域開発公社)の実践						
10	地域政策と内発的発展論						
11	日本の国土開発の歴史と地域経済：全国総合開発計画、国土形成計画						
12	日本の大都市圏の現状と展望：首都圏						
13	地方都市の内発的発展：石川県金沢市						
14	農山村の内発的発展：岡山県新庄村、大分県由布院						
15	創造都市論：イタリア・ボローニャ						
予習内容 復習内容	予習：参考書や講義内で提示する参考資料・URLを読む。 復習：その回に指示した参考文献、その回の講義資料を読む。						
教科書	テキストは使用しない。講義資料としてレジュメおよびスライドを用いる。						
成績評価	試験 80%、授業内で実施する小レポート 20%						
実務経験							
その他 特記事項	全般的に関係する参考文献として以下を紹介しておく。宮本憲一、横田茂、中村剛治郎(編)『地域経済学』有斐閣、1990年。中村剛治郎編『基本ケースで学ぶ地域経済学』有斐閣、2008年。岡田知弘、川瀬光義、鈴木誠、富樫幸一『国際化時代の地域経済学〔第4版〕』有斐閣、2016年。						